

# 英語科学習指導案

学 級 2年B組 (22名)  
場 所 2年B組教室 (南舎)  
授業者 宇野 尚  
Octavio JIMENEZ

## 1 単元名

### Unit 5 Universal Design

## 2 指導の立場

### (1) 教材観

本単元は、最近、日常生活に浸透しつつある、ユニバーサルデザイン (Universal Design, UD: 文化・言語・国籍の違い, 老若男女といった差異, 障害・能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計, デザインを意味する) が題材として紹介されている。製品化された事例, 身近な施設での設置例などを通して, 誰にでも優しい配慮がされていることやすべての人々が安心して生活し, 共存していくための知恵に触れる良い機会と考えている。

前の単元で学んだ「文の意味のまとまりによって区切りながら読む」ことも生かしながら, ユニバーサルデザインの商品の説明や体験談, 紹介文の要点を読み取ることに加えて, 自分の考えを表現する言語活動を毎時間位置づける。言語材料では, 接続詞の if.../ When.../ Because.../ I think(know)...などに続く接続詞の that などが扱われる。これらを用いて, ある条件で何をするのかを述べたり, 自分の意見とその理由を述べたり, どんなときに何をしたかを述べたりする場合の表現を習得し, 即興で問答できる活動にまで高めていきたい。

そして, この単元で学んだユニバーサルデザインの福祉的配慮の視点をもとに「北和中生徒全員にとって学校がよりよくなるアイデアを提案しよう」を出口の活動として設定し, 活動に必然性をもたせ意欲的に取り組ませたい。

学習指導要領に示されている指導内容は以下のようである。

話すこと (S)

#### (ウ) 聞いたり読んだりしたことについて, 問答したり意見を述べ合ったりすること。

「聞いたり読んだりしたこと」とは, 例えば, スピーチや視聴覚教材などを聞いたり, 手紙や読み物教材などを読んだり, ポスターや図表などを見たりし理解したことである。こうして得られた情報や話題が, 次の問答をしたり意見を述べ合ったりする活動につながる。

「問答したり」とは, 聞いたり読んだりした事柄について, 理解を確実にしたり考えを深めたりするために互いに分からない点や確かめたい点などを尋ねたり, 答えたりすることを意味する。問答は, 生徒どうし, 教師から生徒, 生徒から教師など, 多様な形で行うことが大切である。また, 「意見を述べ合ったり」とは, 単に聞いたり読んだりしたことなどを理解するだけにとどまらず, 理解したことについて自らの感想を伝え合うことである。

これを受けて, 本単元の学習内容を次のように捉えた。

- ① 広告を読んだり, 対話を聞いたりして, 何が説明されているかを理解することができる。
- ② 聞いたり読んだりした事柄について, 理解を確実にしたり考えを深めたりするために, 互いに分からない点や確かめたい点などを尋ねたり, 答えたりすることができる。
- ③ 互いの提案を聞いて, どんなことが学校生活をより良く, 豊かにするのかを理解することができる。
- ④ 互いの提案について, 感想や, 賛成・反対などの意見とその理由の交流を通し, 考えを深めることができる。

## (2) これまでの学習

これまでの学習では、Unit2 A Trip to the U.K.では、メールやロンドンの観光説明を聞いたり読んだりして得た情報をもとに「日本のおすすめの場所への旅行」を班で計画し、自分の考えや気持ち、事実などを聞き手のALTに正しく伝える活動として旅行の提案を行った。

「話すこと」に関しては、基本的な単語が正しく発音できない生徒が多いという大きな課題がある。これまでは話すことに自信がもてず、話したいことを日本語で書き、それを英語に直してから話すことを繰り返していた。そのため、話すというより書いたものを読むという活動になってしまっていた感が強い。この単元では、毎時間、帯活動で身近な話題について対話活動に取り組むことで紙に頼らず、即興で問答する姿を目指したい。

そのためにも、基本的な語彙を増やし、それらを正しく読めるようにする。その具体策として発音練習、音読練習にかける時間を確保する。T2やALTと支援する生徒を習熟度によって分担する。ペア、グループ活動を活性化させるために、生活班ではなく、教え合いができる英語の授業用の3人グループをつくって取り組むようにしている。

## (3) 生徒の実態

1学期の授業アンケート結果から理解度については「とてもよく分かった」「分かった」と答えた生徒は55%であった。2年A組の72%に比べてかなりの差がある。愛好度については55%の生徒が「好きではない」と回答した。理由としては、「学習内容に興味が無い」「学習内容が分からない」と回答した生徒が約3割いた。また、理解度について「あまり分からなかった」「全く分からなかった」と回答した生徒が5人いた。仲間との学び合い、ペアでの教え合いが上手くできてないと回答した生徒も約2割いた。夏休み課題テストの結果から、聞くことは正答率が約7割であったが、読むこと、読解は正解率が3割であった。特に男子生徒の単語の理解が正答率3割、英作文は1割にも満たない結果となった。授業中の活動では、聞き取った情報をもとに話すことは意欲的にできるが、読み取った情報をもとに話したり、書いたりすることに抵抗を感じる生徒が多い。

このような実態から、特にK男、H男とT子には、T2が支援してきた。基本的な単語が正しく発音できないという大きな課題については、質問時間や習熟度指導で確認、練習する時間を確保し、書くことについては、基本的な単語について補助プリントや板書などを活用させ、正確に書けるように支援している。

## 3 研究主題とのかかわり

### 〈研究主題〉

主体的・対話的な学びを通して、たくましく自分を表現し「確かな学力」を身に付ける生徒の育成

### 〈研究内容〉

#### I 主体的・対話的な活動を位置付けた単元指導計画の工夫

##### ②「教科に対する関心・意欲・態度」をどのように育てるかを明確にした単元指導計画

1学期の授業アンケートで理解度に1, 2を付けた生徒は「授業内容がわからない」、「学習内容が身につけていない」と回答していた。このことから、学習内容が理解でき「分かって楽しい」と思えるように指導することで、英語に対する苦手意識をなくし、少しでも興味・関心をもって取り組める生徒を育てることができると考える。

そのため、単元を通して導入で対話活動を位置付けた。単元の出口でめざしたい対話表現に近づくよう、段階的に難易度が高まるように語彙数、文法、対話量を変えていった。また、興味・関心が高まるよう、身近な話題を取り上げた。

#### II 主体的・対話的な活動を位置付けた単位時間の工夫

##### ①主体的・対話的な学びを生み出すために、導入を工夫した単位時間の学習活動

前時までの学習内容を帯活動(基本文などを使った対話活動)で,どの生徒も自分の考えが言え,相手と問答できるよう復習を行うことで「自分にできそうだ」という意欲と自信をもたせたい。提案内容に,こちらから視点を与えることで考えに深みをもたせ,「話したい」「聞いてみたい」という雰囲気づくりにも努めたい。

### Ⅲ 主体的・対話的な活動を生み出す学習環境づくり

#### ②主体的・対話的な活動を支える教科の学び方と教室環境

これまでの英語の授業の学び方として,練習の成果の交流をペア,グループ,スクランブルで行ってきたが,理解度や定着度に差がありすぎ,自信のなさもあり,活動する相手がかなり限定されていた。英語用の3人グループでの教え合いや習熟度によるグループでの練習を交流の前に位置付け,自信をもって英語で交流でき,生徒が主体的に学習しやすい環境に変えてきた。

(机列の工夫)

- ・普段の生活班でのペアを生かす ……文法・本文の理解
- ・3人グループで教え合いを重点に置く ……対話活動
- ・前後に分かれる ……習熟度別に作文指導

4 単元指導計画	時	① オリエンテーション (L)	② 文法 (S, W)	③ Dialog (R,S)	
第2学年 単元指導計画【全10時間】 単元名:Unit5 Universal Design	ねらい	「もし、何が北和中にあれば、私たちの学校生活はより良くなる」の問いに答え、考えを交流することを通して、終末の活動への見通しと意欲をもつことができる。	when 節, because 節を使った活動を通して、接続詞の意味等が分かり、それを用いて自分の考えを書くことができる。	商品の広告を読む活動を通して、if 節の文の意味・機能・形態が分かり、if 節を使って身近なことについて英語で表現することができる。	
【単元のねらい】 身近な話題について聞いたり読んだりしたことについて、2往復以上で問答したり意見を交流することができる。		学習活動	<p>① 導入(L)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Oral Interactive Introduction を通して、本単元の学習内容の概要をつかむ。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">Unit5での学習内容をつかみ単元課題を理解しよう。</div> <p>② 内容理解(L)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTに「北和中、揖斐川町にあると良いものとその理由」を聞く。</li> </ul> <p>〈聞き取りの視点〉</p> <p><input type="checkbox"/> 教室にあると生徒が喜ぶものは。</p> <p><input type="checkbox"/> 揖斐川町にあると住民が喜ぶものは。</p> <p>③ 単元の課題の理解</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 2px;">「北和中をより良くする提案をしよう！」</div> <p>④ 班で相談して考える。</p> <p>〈例〉 ○学校の施設 ○学校行事 ○学校の校則 ○授業、部活動について</p> <p>⑤ 全体交流</p> <p>⑥ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を貫く課題を理解できた。</li> <li>・自分の意見をもつことができた。</li> </ul>	<p>① 帯活動(S)</p> <p>Q1 Do you like Hokuwa JHS? Yes, I do. / No, I don't. Q2 Why? Because we can enjoy . . . / Because we can't enjoy . . .</p> <p>・単元終末に活用できる表現の音読練習</p> <p>② 導入 Oral Interactive Introduction(L)</p> <p>T: Today, let's write about sentences using and, but, or, because, if, and when</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">今まで学習した接続詞を使い、自分のことを表現しよう。</div> <p>③ 文法の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ when, because 意味・機能等の導入</li> </ul> <p>④ 文法定着のための活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ When I came home, my sister was sleeping.</li> <li>・ I opened the window because it was hot.</li> </ul> <p>⑤ 復習 I like A and B. and を使い自分の好きなものを2つ以上表現</p> <p>⑥ 班交流 I like sushi and natto.</p> <p>⑦ 表現活動 Because I'm Japanese.</p> <p>⑧ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞を使い自分のことが表現できた。</li> </ul>	<p>① 帯活動(S)</p> <p>・単元終末に活用できる表現の音読練習</p> <p>② 導入 Oral Interactive Introduction(L)</p> <p>T: Q1 If you have a "Dokodemo-Door" where will you go?</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">if を使い自分の考えとその理由を英語で表現しよう！</div> <p>③ 新出単語の意味・発音を確認、発音練習 (S)</p> <p>④ 本文の内容理解(R) (読み取りの視点)</p> <p><input type="checkbox"/> 何の商品ですか。</p> <p><input type="checkbox"/> 問い合わせ先の電話番号は。</p> <p><input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインの良さは。</p> <p>⑤ 本文の意味・発音を確認、音読練習 (L,R)</p> <p>⑥ if 節を使ったパターンプラクティス(S,W)</p> <p>◆ If I have a "Dokodemo-Door", I will go to . . .のような単元終末の活動に直結する文を練習し、if 節の文に慣れさせる。</p> <p>⑦ 自己評価と振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞を使い自分のことが表現できた。</li> </ul>
【単元を貫く課題と中心となる言語活動】 課題:「北和中をより良くする」提案をしよう。 言語活動:接続詞などを活用して、学校生活をより良くする提案について理由を明らかにして話し、互いに意見を交流する。	評価規準		単元終末の活動や、単元の課題を理解できる。ALTからの情報を整理できる。 【観察、ワークシート】	when 節, because 節の意味・機能等を理解し、それらを使って自分のことを表現できる。【観察、ワークシート】	本文の内容と、if 節の意味・機能等を理解し、身近なことについて英語で表現できる。 【観察、ワークシート】
【指導事項とつきたい力】 「指導事項」:「話すこと」(オ)聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりすること。 「つきたい力」:聞いたり読んだことについて、自分の考えを明らかにして、即興で意見や感想を交流することができる。			【言語材料】 ・接続詞(if 節, that 節, when 節, because 節)	【学年の学習到達目標を達成するための本単元の役割】 前単元では、ホームステイについてのガイドブック、体験談の読み取りを通して注意事項、トラブル時の対処法などの大切な部分を理解することができた。 本単元では、聞いたり読んだりして得られた情報や話題をもとに問答し合う活動につなげたい。具体的には、互いに分からない点を確認することで、理解を確実にし、理由を問うことで互いの考えを深め、主体的・対話的な学びにつながると考える。	

時	④表現活動1(S,W)	⑤RFC(L,R)	⑥RFC(L,R)	⑦表現活動2(S,W)	⑧終末の活動3【交流】(S)
ねらい	光太とディーパの対話を読む活動を通して、自分の考えを述べる表現が分かり、I think that・・・を使って身近なことについて英語で表現できる。	咲の「車いす体験」の感想について読み取り、体験をもとにした自分の考えを紹介文で生かせそうな表現を抜き出すことができる。	光太がユニバーサルデザインについて調べたことについて読み取り、紹介文で使える表現を抜き出すことができる。	if節, when節, because節を使った活動を通して、接続詞の意味等が分かり、それらを用いて自分の考えを書くことができる。	互いの「揖斐川町をより良くする提案」を聞き取り、感想や意見を2往復以上で交流することができる。
学習活動	<p>①帯活動(S)</p> <p>Q3 Which <b>subject</b> do you like? I like・・・because・・・<b>subject</b> <b>season</b> <b>convenience store</b></p> <p>Q4 What do you think of his / her idea? I think so, too. / I don't think so. Because・・・</p> <p>②導入 Oral Interactive Introduction(L) T: I think Hokuwa JHS has many interesting school events to enjoy in each season. Did you enjoy them?</p> <p>I think thatを使い、自分の考えを表現しよう。</p> <p>③新出語句の意味等確認、発音練習(S)</p> <p>④本文の内容理解(R) (読取りの視点) □光太は昨夜、なぜ2回シャンプーしたの。 □ユニバーサルデザインとは。 □ディーパの考えは。</p> <p>⑤本文の意味・発音確認(L, R)</p> <p>⑥thatの定着のための練習(S) ・I think that・・・is great because □ □ are useful for everyone. ・のような単元終末の活動に直結する文を練習</p> <p>⑦自己評価と振り返り ・thatを使い自分の意見が表現できた。</p>	<p>①帯活動(S)</p> <p>②導入 Oral Interactive Introduction(L) T: When I had backache, it was very hard for me to go up stairs. What do we need for sick people?</p> <p>「北和中を良くする提案」で使える表現を探し出そう。</p> <p>③新出語句の意味等確認、発音練習(S)</p> <p>④本文の内容理解(R) (読取りの視点) □初めての体験で感じたことは。 □この経験から学んだことは。</p> <p>⑤本文の意味・発音確認(L, R)</p> <p>⑥使える表現を抜き出す。 ・Whenを使った文・I couldn't use～ ・Even so～ ・useful for everyone ◇仲間の考えを板書に位置付け、他の生徒が参考にできるようにする。</p> <p>⑦自己評価と振り返り ・提案文で使える表現を抜き出した。</p>	<p>①帯活動(S)</p> <p>②導入 Oral Interactive Introduction(L) T: I think it's great because the I-Pad is very useful for everyone.</p> <p>「北和中を良くする提案」で使える表現を探し出そう。</p> <p>③新出語句の意味等確認、発音練習(S)</p> <p>④本文の内容理解(R) (読取りの視点) □ペットボトルにされている工夫は。 □車いすの人にも優しい工夫は。 □ユニバーサルデザインの良さは。</p> <p>⑤本文の意味・発音確認(L, R)</p> <p>⑥使える表現を抜き出す。 ・becauseを使った文 ・For example～ ・these days ◇仲間の考えを板書に位置付け、他の生徒が参考にできるようにする。</p> <p>⑦自己評価と振り返り ・提案文で使える表現を抜き出した。</p>	<p>①帯活動(S)</p> <p>Q5 Do you like Ibigawa Town? Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>Q6 Why? Because it has many places to visit. For example,・・・</p> <p>②導入 Oral Interactive Introduction(L) T: Today, let's write your sentences using 'if', 'when' and 'because'.</p> <p>if節, when節, because節を使って自分の考えについて書こう。</p> <p>③新出文法の理解(S) ・when, becauseの意味・機能等の確認</p> <p>④if, when, becauseの定着のための活動(S) ・If we have long summer vacation, we can・・・ ・I don't like summer because it's too hot in our town.</p> <p>⑤交流(S) ④について仲間と交流する。</p> <p>⑥表現活動(W) ・交流したことをワークシートに書く。</p> <p>⑦自己評価と振り返り ・提案文が接続詞を使い書けた。</p>	<p>①帯活動(S)</p> <p>②導入(S) ・教師のモデル対話を聞き、交流の仕方を確認する。</p> <p>互いの「より良くする提案」を聞いて、感想や意見を交流しよう。</p> <p>③「話す、聞く」視点を確認する。 (S)・写真などの工夫 ・聞き手の理解 ・難しい単語の説明 (L)・接続詞の文 ・提案内容・その理由</p> <p>④交流(S, L) I think if we have a university ,in our town, our town will be young.</p> <p>⑤中間交流 ・問答の内容がよい生徒を全体に紹介</p> <p>⑥メモを参考に自分の意見に書き加える</p> <p>⑦自己評価と振り返り ・「話す、聞く」視点が意識できた。 ・2往復以上で交流できた。</p>
評価規準	本文の内容を理解し、自分の考えを述べる表現の仕方を理解し、身近な話題について英語で表現できる。【観察・ワークシート】	本文の内容を理解し、使える英語表現を抜き出すことができる。【観察・ワークシート】	本文の内容を理解し、使える英語表現を抜き出すことができる。【観察・ワークシート】	if節, when節, because節の意味等を理解し、それらを使って文を書くことができる。【観察・ワークシート】	「提案」を聞いて、感想や意見を2往復以上で交流することができる。【観察・ワークシート・提案文】

時	⑨本時 終末の活動2【交流】(S)	⑩終末の活動3 (W)	【本時の終末で達成させたい姿】	【本単元における評価規準】		
ねらい	互いの「北和中をより良くする提案」を聞き取り、感想や意見を2往復以上で交流することができる。	「北和中をより良くする提案」についての理由を加えて相手により内容が伝わる英文を書くことができる。	接続詞等を使って、具体例や理由を挙げるなどしながら、「学校生活をより良くする提案」を伝え合い、互いに2往復以上の問答をすることを通して、みんなにとってより良い提案を考えることができる。	Drama/AV/SBを濃度		<b>【言語活動への取組】</b> 自分の提案を写真などを用いて、何とか伝えようとしている。(観察) <b>【コミュニケーションの継続】</b> 話に詰まった時に前時までの既習表現を見直して続けようとしている。(観察)
学習活動	①帯活動(S) Q7 Do you enjoy your school life? Yes, I do. / No, I don't. Q8 Why? Because we can enjoy . . . / Because we can't enjoy . . . ②導入(S) ・教師のモデル対話を聞き、交流の仕方を確認する。 互いの「より良くする提案」を聞いて、感想や意見を交流しよう。 ③「話す、聞く」視点を確認する。 (S)・写真などの工夫 ・聞き手の理解 ・難しい単語の説明 (L)・接続詞の文 ・提案内容・その理由 ④交流(S, L) Your opinion is very good. I think I-Pad is very useful. ⑤中間交流 ・問答の内容がよい生徒を全体に紹介 ⑥メモを参考に自分の意見に書き加える ⑦自己評価と振り返り ・「話す、聞く」視点が意識できた。 ・2往復以上で交流できた。	①帯活動(S) ②導入 Oral Interactive Introduction(L) T: Let's write your opinion. Please learn how to write [より良くする提案] and some useful expressions. どの生徒も良さを感じる「北和中をより良くする提案」を書こう。 ・JTEとALTの問答, JTEと生徒の問答から理由を考える視点を見つける。 ③表現活動1(W) ・第5時, 6時で抜き出した本文や第8時までで対話した内容のメモを使い、提案文を書く。 ④中間交流(R) ・仲間の良い表現をメモして自分の提案文に生かす。 ⑤自己評価と振り返り ・自分の考えとその理由が書けた。	交流例(交流活動①) A: Do you enjoy your school life? B: Yes, I do. <u>If we have a sleeping time, I will be happy and fine.</u> What do you think? A: I think so, too. That's a good idea. If we have a sleeping time, I will play outside with my friends. I think we want a <u>long hiruyasumi for everyone.</u> B: Long <u>hiruyasumi</u> ? <u>We can do our favorite things and relax.</u> ↓ <b>【本時の終末で達成させたい姿】</b> 交流例(交流活動②) A: Do you enjoy your school life? B: Yes, I do. I'm always tired. If we have <u>a long hiruyasumi</u> , we <u>can enjoy our favorite things and relax.</u> <u>A long hiruyasumi is good for everyone.</u>		外国語表現の能力	話す
外国語理解の能力	書く	<b>【正確な表記】</b> 接続詞(if節, that節, when節, because節)を正しく用いて自分の考えを3文以上で書くことができる。(観察・ワークシート・提案文)				
	聞く	<b>【適切な聞き取り】</b> 対話で相手の話す提案内容を聞き取り、同意したり、感想を伝えたりできる。(観察・応答)				
外国語理解の能力	読む	<b>【読み取りによる理解】</b> 教科書の説明文の読取りを通して、出だしや結び、具体例などの文の構成と接続詞の意味や用法に留意して、要点を抜き出し内容を正確に理解できる。(観察・ワークシート)				
	言語や文化についての知識・理解	<b>【言語についての知識・理解】</b> 接続詞(if節, that節, when節, because節)の意味、機能、形態を理解している。(観察・ペーパーテスト) <b>【文化についての理解】</b> コミュニケーションの継続の仕方を理解している。(観察・パフォーマンステスト)				
評価規準	「提案」を聞いて、感想や意見を2往復以上で交流することができる。 <b>【観察・ワークシート・提案文】</b>	仲間との交流を通して、「より良くする提案」について例や理由を加えて3文以上で書くことができる。 <b>【観察・ワークシート】</b>				

5 本時の展開

2年B組 英語 Unit5 Universal Design		【本時のねらい】 互いの提案のスピーチを伝え合い、その感想・意見を I think や because を使って2往復以上で問答し、交流することができる。
第9時 / 全10時間 授業者 宇野 尚 ALT Octavio JIMENEZ		
過程 / LSRW	学習活動	すべての生徒に「できた・わかった」を実感させる手立て
帯活動	S 1 Small Talk 学校生活についてペアで対話活動を行う。 Do you enjoy your school life? –Yes, I do. –Why? – Because～	<p>【導入において配慮すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元導入で示した課題意識を本時の導入でも視覚的に想起させ、活動の必然性や目的意識をもたせる。</li> <li>・本時の評価規準を明確にすることによって、何ができればよいかを把握し本時の学習に取り組めるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>○話し手の工夫と既習の表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ slowly and clear / showing pictures / pause</li> <li>・ For example (例をあげて説明)</li> <li>・ Are you with me? OK? (理解を確かめる)</li> <li>・ It means . . . in Japanese. (単語説明)</li> <li>・ Pardon? / Once more, please. / Why? (問い直す)</li> <li>・ I don't know the word 'busy'.</li> </ul> </div> <p>【交流において配慮すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ K男, H男, T子はJTE, ALT がペアになり, よさを認め, 1往復の交流が「できた」と実感させ, 次の活動に取り組ませたい。</li> </ul> <p>&lt;交流の視点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 接続詞 (if, that, when, because) の文がうまく使えているか。(JTE)</li> <li><input type="checkbox"/> 例や理由を挙げての説明が分かりやすく, 提案の内容が伝わったか。</li> <li><input type="checkbox"/> 話者の考えに賛成か反対かを明らかにして, その理由を加える。</li> </ul> <p>【振り返りにおいて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流活動②は3人グループで行い, お互いの伸び「考えの深まり」を見つけ, 認め合う場としたい。教師だけでなく, 仲間からの適切な評価をもとに, 生徒一人一人が「できた・わかった」と実感できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価規準】</p> <p>お互いの学校生活をより良くする提案を聞いて, その感想や意見を I think や because を使って2往復以上で交流することができる。 【観察・WS】</p> </div>
導入	L 2 Oral interactive Introduction を通して, 本時の学習課題をつかむ。	
課題把握	S J: I think Students enjoy their school life in Hokuwa. A: I don't think so. Why don't they play outside after lunch? You have to play outside and enjoy your school life. What do you think, S? S: I think so, too. . . . J: Why do you think so? S: Because I want to play soccer after lunch.	
互いの「北和中学校をより良くするための提案」を聞いて, その感想や意見を接続詞や I think を使って交流しよう!		
<伝え合う>	S 3 交流活動① 5分間で3人以上と交流しよう! ・交流した内容を簡単にワークシートにメモする。	
交流活動	L A: Do you enjoy your school life? B: Yes, I do. But I'm always tired. <u>If we have a sleeping time, I will be happy and well.</u> What do you think? A: I think so, too. That's a good idea. If we have a sleeping time, I will play outside with my friends. I think we need <u>a long hiruyasumi for everyone.</u> B: Long <u>hiruyasumi</u> ? <u>We can do our favorite things and relax.</u>	
<確認し合う>	W	
表現活動	S 4 中間交流 仲間の良さを学び, メモをもとに自分の提案を手直しする。	
振り返り	L 5 交流活動② 3人グループで交流する。 【本時の週末で達成させたい姿】 B: If we have <u>a long hiruyasumi</u> , we <u>can enjoy our favorite things and relax.</u> <u>A long hiruyasumi is good for everyone.</u>	
	S 6 自己評価と振り返り <input type="checkbox"/> 交流することで自分の思いつかなかった理由を考えることができてよかった。	